

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年8月30日 (2012.8.30)

【公表番号】特表2012-500322(P2012-500322A)

【公表日】平成24年1月5日 (2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-001

【出願番号】特願2011-523904(P2011-523904)

【国際特許分類】

C 0 8 F 14/18 (2006.01)

C 0 8 F 8/30 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 14/18

C 0 8 F 8/30

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月11日 (2012.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

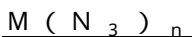
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スルホニルアジド基ではないアジド基を 1 つ以上含むフルオロポリマーを調製する方法であって、1 つ以上の脱離基を含むフルオロポリマーの溶液又は分散液と、有効量のアジド化合物とを反応させる工程を含み、

前記アジド化合物は、下記式



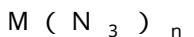
(式中、M は、金属カチオンを含む一価又は多価カチオン、又はアンモニウム基、又は H、又はハロゲン、又は擬ハロゲンを表し、n は、カチオンの価数に相当する)

で表される化合物である、方法。

【請求項 2】

スルホニルアジド基ではないアジド基を 1 つ以上含むフルオロポリマーを調製する方法であって、アジド化合物の存在下で重合を実施する工程を含み、

前記アジド化合物は、下記式



(式中、M は、金属カチオンを含む一価又は多価カチオン、又はアンモニウム基、又は H、又はハロゲン、又は擬ハロゲンを表し、n は、カチオンの価数に相当する)

で表される化合物である、方法。

【請求項 3】

硬化性エラストマーを硬化することによって調製される硬化したフルオロポリマーを含む物品であって、前記硬化性エラストマーは、スルホニルアジド基ではないアジド基を 1 つ以上含むフルオロポリマーである物品。